

世界と日本の名作を味わう

講師：青木 登 紀行作家

新型コロナウイルスの蔓延^{まんえん}で、世界中の人が苦しんでいる時、よりによってプーチンが無謀にもウクライナに侵攻した。こんな人類を冒涇^{ぼうとく}する行為を許すことをできない。しかしだからと言って、武力で対抗するわけにはいかない。はがゆくても世界中の正常な人の連帯、文化芸術を愛する優しさを世界中に広めて行くしかない。今期はこうしたことに関係する作品を取り上げる。

カミュ『ペスト』は、ペストの蔓延^{まんえん}の中で、人はどう生きるべきかを問う作品であるが、実際はナチズム（ヒトラーが率いた党の考え方、社会的不安や困窮の原因をユダヤ人のせいにし、広く社会の底辺層にまで支持基盤を獲得した全体主義）を疫病に置き換えて、災禍との闘いを描いたもの。プーチンがまき散らす災禍といかに戦うかと同じであり、その参考になる。

高村光太郎『智恵子抄』に私たちが感動するのは、戦争に深くかかわっていたからである。愛する智恵子が精神病を病み、その絶望と諦念から、彼を戦争に協力する戦争詩へ向かわせた。戦後、その反省から独り岩手県の山の中に引き籠り、自炊生活をし『典型』を発表した。人間はなんと弱い存在であるか、その弱さと愛を追求した作品。

横溝正史の『本陣殺人事件』『八つ墓村』『犬神家の一族』などは前回予定していて、取り上げられなかった作品であるが、単なる推理小説ではなく、人間と家族の問題を深く考える素材となる。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1、カミュ『異邦人』『ペスト』 | 2、カミュ『ペスト』 |
| 3、高村光太郎『智恵子抄』 | 4、横溝正史『本陣殺人事件』『八つ墓村』 |
| 5、横溝正史『犬神家の一族』 | 6、横溝正史『悪魔が来たりて笛を吹く』 |

日時 2022年 4/28 5/12・26 6/9・23 7/14

第②・④木曜日 10:00~12:00

場所 (公財) 社会教育協会 日野市多摩平1-2-26
シンデレラビル3階

講師 青木 登 (NHK 学園くにたちオープン
スクール講師)

参加費 12,220円 全6回 (保険料 消費税込)
教材費 1,200円別途

申込み 電話か FAX でお申込み下さい。

TEL042-586-6221 FAX042-589-3626

主催 公益財団法人 社会教育協会

Eメール info@zaidan-shakyo.org

